

みこころ



カトリック松山教会
〒790-0003 松山市三番町四丁目5-5
川上 栄治 神父 O.P
発行 広報活動委員会
☎089-921-1849 FAX089-921-2109

教会維持費と献金

今回の「みこころ」は表題のテーマについて書かせていただきます。

わたしは、正直こういうテーマで文章を書くのは好まないのですが、松山教会の信者さんは大変多く、信者さんによっては、あまりご存じでない方もいらつしやると思うので、書かせていただきます。



カトリック松山教会
担当 司 祭 神 父
川上 栄治 O.P

教会維持費とは字の通り「教会の維持や管理に使われる」お金です。

そのお金は教会の建物が老朽化して、修理が必要な時などに使われるお金です。

何より、最近災害に備えた耐震に関する基準が厳しくなり、耐震補強の必要性が増してきたので、維持費の重要性は一層増してきたと言えます。

しばしば「教会維持費はいくら納めればよいですか？」と質問されますが、「皆さんの生活にに応じて決めてください」としか言えないのが実際のところでは

働いている方と年金を納めている方では状況が違いますし、働いている方の中でも当然違いがあります。

それを統一した基準で決めるのは不可能なので、あくまでも皆さんの生活において無理のない金額を毎月、あるいは数ヶ月、一年まとめて、お納めください。

次に献金についてですが、献金は主としてミサ献金です。

ミサ献金は文字通りミサの時に集められます。

ミサ献金は基本教会に納められますが、**年間に8つの「特定献金」がありミサ中に集められ（復活祭や降誕祭で集められる献金は「大祝日献金」と呼ばれ、）**直接教区に送られます。

しかし、このような献金が教会に納められないからといって重要性が低いではありません。

むしろ、「**特定献金**」（**大祝日献金**）はカトリック教会が特定の意向で行っているので、教会で集められる通常のミサ献金と

同じくらい、いやさらに重要であると言っても良いでしょう。

重要なことは、献金がミサに対する感謝の念を込めて「**献げる**」という意味があることです。

一昨年から今年に至るまで度々新型コロナウイルスの感染拡大によるミサの中止がありました。

それまで多くの人のとつてミサはあるのが当たり前でした。

けれども、ミサの中止を度々経験して、ミサの大切さを初めて実感できた方は少なからずいらつしやるでしょう。

「**ミサに参加できてよかった**」という感謝の念を込めて献金していただくとありがたいと思います。

もちろん、わたしは担当司祭として「**ミサに参加できてよかった**」と皆さんに言っていただけのミサを捧げるよう務めてまいります。



**サトルニノ・ゴンザレス・
デルガド神父・帰天**

聖ドミニコ修道会のサトルニノ・ゴンザレス神父様が、6月5日(日)の未明に松山聖ヨセフ修道院にてご逝去されました。前日の4日に96歳の誕生日をお迎えになった翌日の突然の訃報でした。謹んで哀悼の意を表したいと思います。



サトルニノ・ゴンザレス・デルガド神父様

- 1926年6月4日スペイン・アビラ県生まれ
- 1951年9月9日25歳で司祭叙階
- 1952年10月来日・松山教会に赴任
- 1952年10月〜1953年3月松山教会
- 1953年4月〜1957年3月今治教会主任
- 1957年4月〜1981年3月
- 学校法人愛光学園 宗教、倫理、英語の教諭
- 1965年4月〜1981年3月
- 学校法人愛光学園 第三代理事長

- 1969年2月〜1981年3月
- 聖ドミニコ修道会ロザリオ管区 日本地区長
- 1985年11月〜1989年11月松山教会
- 1995年10月〜1999年11月
- 聖ドミニコ修道会ロザリオ管区 日本地区長
- 1996年5月〜1998年5月今治教会主任
- 1999年5月〜2002年2月北条教会主任
- 2002年2月〜2006年3月松山教会主任
- 2006年4月〜2008年3月道後教会主任
- 2009年4月〜2010年3月道後教会主任
- 2022年6月5日
- 松山聖ヨセフ修道院にて帰天(96歳)



★サトルニノ・ゴンザレス神父様を偲んで

愛光学園同窓会 会長 越智 陽一

1965年(昭和40年)に愛光学園の第三代理事長に就任され16年間にわたり理事長を務め愛光学園の発展に尽力されました。松山市宮西の旧校舎から衣山校舎への移転、聖トマス寮の建設など、学園において日本の青少年の世界的使命達成に向けた中心的存在として活躍されました。

「日本ドミニコ会75周年」1979年刊で次のように宗教・倫理面における学校教育の重要性を述べられています。

「前福音化という意味で(学校教育に)キリスト教布教が、役割を果たしているといえる。

(カトリックの)学校の多くの生徒の中にまかれた種が、芽を出すように、時が来たら恵みの雨が私たちの宣教への熱意と祈りによって降るであらう」

ゴンザレス神父様が生徒たちに愛情を注がれ、「愛と光の使徒」の養成を目指した教育は今なお現在の学園関係者によって受け継がれ実践されているところでもあります。

同窓会の一員として、学園に向けられた永年のご厚情に、深く感謝申し上げますとともに、天に召されたサトルニノ・ゴンザレス神父様の平安を心よりお祈り申し上げます。



★サトルニノ・ゴンザレス神父様を偲んで

カトリック松山教会 信徒 白井 光

ある家庭のロザリオの集いで、大好物のアイスクリームを口にされた時の子供の様な笑顔、信徒がスペイン旅行のおみやげ話で、アビラの街や修道院の素晴らしさを語った時の誇らしく、懐かしいような御様子、御自身の「金祝」の席で信徒の一人が愛光中学生の時に、サンタマリア神父様から習ったという「ドミニカン・マーチ」を一緒に口ずさんでいらした時の御顔、どれも満面の笑みでした。



在りし日の
サトルニノ・
ゴンザレス神父

サトルニノ・ゴンザレス神父様は、温厚で優しく静かな性格の方でしたが、時には、非常に強く深い明確な言葉で私達に信仰の道を説いて下さいました。私は、神父様が生前、信徒達とおしゃべりに興ずるお姿を直接目にしたことは、ほとんどありませんでした。しかし、病気の方々、悩みを抱えている方々には、そつと声を掛けて優しく接して下さいていたと知る信徒は何人も居りません。神父様の思いがけない素顔を拝見した事があります。



7月9日 土曜日、
カトリック松山教会において
♡新郎・田窪 輝さん
♡新婦・渡部 典子さん

結婚式の祝福

神父様の心には、常にスペインへの熱い思いや懐かしさがあつたと思います。それらを振り切つて、70年近くも私達の側で、日本の宣教に身を捧げ、最後は松山の土になるのを良しとされました。衣山の墓地の眠る神父様方も同じでしょう。本当にありがとうございました。今、私達は、神父様方を通して神様から頂いたこの「信仰」を大切に育て、伝えていくつもりです。どうぞ、これからも弱く迷い続ける私達信徒を、見守して下さい。感謝と祈りを込めて 白井 光



誓いの言葉

私達は、夫婦として、
順境にあつても、
逆境にあつても、
病気の時も、
健康の時も、
生涯互いに
愛と忠実を
尽くすことを誓います。

新郎・輝さんより

カトリック松山教会で結婚式を行い、新たな生活が始まることを嬉しく思っています。これから二人で手を取り合つて、明るく楽しい家庭を築いていけるように尽力いたします。まだまだ未熟者の私たちですので、これからもご支援いただけますようお願いいたします。



♡新郎・輝さん&新婦・典子さん いつまでもお幸せに♡

金祝 司祭叙階50周年



司祭叙階・金祝
ルイス・グティエレス師

聖ドミニコ修道会司祭。
スペイン・アビラ県出身。

殉教者聖ペトロ神学院哲学科・神学科卒業。

1972年6月29日、スペイン・マドリッド市

殉教者聖ペドロ修道院において司祭叙階。

1973年来日。上智大学神学科聴講生。

松山教会助任、道後教会主任、

ロザリオ学園道後聖母幼稚園副園長、

松山教会主任を歴任、

現在は聖ヨセフ修道院にて静養。

教会の主任として在任中は「開かれた教会づくり」

を目指し、地域社会の中で宣教する教会の姿を探

り続けました。

カトリック高松教区報より

金祝 司祭叙階50周年



司祭叙階・金祝
ハビエル・レチョン師

聖ドミニコ修道会司祭。

スペイン・ヴァリアドリッド県出身。

殉教者聖ペトロ神学院哲学科・神学科卒業。

1972年6月29日、スペイン・マドリッド市殉

教者聖ペドロ修道院において司祭叙階。

1973年来日。上智大学大学院卒業。

上智大学研究生。UCA News 特派員。

海の星幼稚園副園長、西条聖マリア幼稚園園長、

西条教会主任、ロザリオ学園天使幼稚園園長、

郡中教会主任、ロザリオ学園八幡浜聖母幼稚園園長、

ロザリオ学園宇和島聖母幼稚園園長、ロザリオ学園

理事長、ロザリオ学園海の星幼稚園園長、

愛媛地区中予ブロック協力司祭を歴任、現在に至る。

ドミニコ会の正義と平和の担当者であり、いつでも

平和のために努力しました。

カトリック高松教区報より

園児教会を訪問

6月27日

海の星幼稚園の園児が教会を訪問しました。



チャプレンの川上 栄治神父様から、
神様についてのお話を聞き、お祈りと聖歌を歌いま
した。



ベトナム語ミサ

5月29日カトリック松山教会で、ベトナム語のミサが行われました。

愛媛で暮らしている若い女性27人、男性6人の33人が参加しました。

司式はカトリック今治教会のヨセフ神父様です。



カオトウアン



ヨセフ神父

ベトナム語のミサ開催を呼び掛けていた

カオトウアンさんは、「これを機会に、もつとベトナムの若者達が教会に訪れてくれると、仲間も増えるし、教会のみなさんとの絆が深まればありがたいです」と話していました。

カトリック今治教会のヨセフ神父様も「機会があれば、ベトナム語ミサを開催していきたい」と話しておられました。



ヨセフ神父様 ベトナム語ミサ、これからもよろしくお祈りします。

ミャンマー語ミサ

6月12日午後、高松市の桜町教会聖堂でミャンマー語のミサが開かれました。

愛媛・岡山・兵庫・広島などから30人余りの青年が参加しました。

司式は今年3月に叙階されたドミニコ会のピーター・ジャ・レ神父様です。ジャ・レ神父様はミャンマーの出身ですが、ミャンマー語でのミサは初めての事でした。

ミャンマーは少数民族が多く言語も少しずつ違っているそうです。



ジャ・レ神父

参加者には、カレン族、ケヤン族の方が参加しており、中には民族衣装を着た方もいました。

ジャ・レ神父様は、ミャンマー語ミサを、今後も続けたいとおっしゃっていて、次回も、桜町教会聖堂で行う予定です。

オアシス便り

オアシス

心のオアシス 重松 千史

私が、オアシスを手伝うようになったのは、頼まれていた方の都合が悪くなり、仲良しの友達が手伝っていた為です。

私も火曜日が空いていたので手伝うことにしました。

午前10時から午後1時までの半日で、午後からの方と交替しています。

掃除やコーヒーの準備をしながら、お客様の居なるときは、お祈りをしたり、家庭の事を聞いてもらったりして、お互いにいろいろ話し合い、心もスッキリしていました。

また、頑張ろうという気持ちにさせてくれる場所です。

オアシスが、お休みになって半年近く淋しく思っていました。6月19日から再開になり、うれしく思っていました。また、コロナ感染が広がり、7月中旬から休みになってしまいました。

世界の平和や、病気の方々の為にお祈りしたいと思っていたのに、とても残念です。

一日も早く、オアシスが再開され、私の心のオアシスも、満たされますように祈っています。

繋がりのおアシス 佐々木真理

6月19日にオアシス再開を喜んだ矢先、コロナの影響で一ヶ月足らずでお休みとなり、現在も閉めています。

電気のついていないオアシス、人の声のしない教会は、本当に寂しいものです。

オアシスの手伝いをさせて頂くようになって、信者さん未信者の方々との出会いが沢山ありました。

「私達の教会にもこんな空間が欲しい。」と言われた信者さんもおられました。

「オアシスとの出会いがとても嬉しかった。」と未信者の方からの寄付があったと聞いています。

愛を持って接する事、それこそが宣教になるのではないのでしょうか。



待ち遠しい！オアシスの再開

高齢化、信徒減少で教会が遠い存在になりつつある現在、信者同志の繋がりが必要だと思えます。オアシスには時々神父様も来てくださいます。この度、スタッフに男性が加わりました。

再開の折には、お出掛けのついでに、友人との待ち合わせに、ミサ後の交流に、気軽にお立ち寄りください。飲み物と少しばかりのお菓子も用意してお待ちしています。

お知らせ

教会維持費ですが、ゆうちょ銀行への振り込みが可能です。

教会維持費の振込先

ゆうちょ銀行
口座名：
カトリック聖ドミニコ修道会
イエズスの聖心教会
記号
16160
番号
26197851



- 帰天者 (8月現在)
- 洗礼者ヨハネ 井上 政宣さん (まさよし)
- アルフォンソ 森 嘉朗さん
- マリア 日野セツ子さん
- ヨセフ 竹田 義則さん
- 転出者 なし
- 転入者 なし